

ほんの
ひと



- 号外 -

2026. 1. 5 発行

(医) 錄三会	美濃加茂市 太田町 2825
太 田 病 院	TEL 0574-26-1251
クリニック	TEL 0574-26-2220
中部台ケアセンター	TEL 0574-23-1155
更紗	TEL 0574-23-1011
デイサービス 和	TEL 0574-24-0753
つるかめ訪問看護	TEL 0574-27-6535
居宅介護支援事業所	TEL 0574-23-0600
中部長寿支援センター	TEL 0574-49-8591



2026 新年のご挨拶



■理事長兼太田病院院長 佐々木 裕茂（外科・内科）

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、当法人の各医療・介護施設をご利用いただき、誠にありがとうございました。感謝しております。

年間を通して強力ではないものの、コロナウイルス感染継続、また今シーズンは流行が速かったインフルエンザ流行など、各種感染症との「共存」そして治療による拡大防止が、今年も継続することが予想されます。

さてこの2年間、「業務改善」を目標とし、皆様に対して少しでもより良い医療・介護の提供を行い、信頼される法人を目指してきました。また職員に対しても、個人の幸せ・成長、法人の活性化を目指して取り組んできました。今年は3年目を迎えます。業務改善が常習化して、皆様には安定したサービスの提供、職員には業務の効率化による負担軽減を目標とします。

今年も色々な面でご迷惑をおかけするかと思いますが、ご不満などご意見がありましたら、どんどんお聞かせください。改善していきます。

どうか今年も1年間よろしくお願ひいたします。

■太田メディカルクリニック院長 尾下 英史（整形外科）

新年あけましておめでとうございます。

令和八年、午年の幕開けを迎え、皆さまに心よりご挨拶申し上げます。午は馬を意味し、古来より俊敏さや力強さ、そして人との絆を象徴する存在として親しまれてきました。広い大地を駆ける馬の姿は、前進と発展を表し、今年の私たちの歩みを後押ししてくれるようを感じます。



馬にまつわる故事成語には「駿馬も一歩から」があります。どんな優れた馬も一歩一歩の積み重ねから走り出すという意味で、医療においても日々の診療の積み重ねが患者さんの健康を守る力となると考えます。

本年も、馬のように力強く、そしてしなやかに、患者さん一人ひとりに向き合いながら確かな医療をめざしてまいります。皆さんの健康と安心を守るため、スタッフ一同精進いたしますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

■名誉副院長 佐々木 晃（整形外科）



明けましてお目出度う御座居ます。

日本の平均寿命は数年間にわたり世界最高を維持し、男女ともに高齢化。2025年9月1日現在、100歳以上の高齢者は男性11,974人、女性87,789人と前年より増加しています。高齢者人口の増加に伴い、整形外科的疾患も増加傾向です。私は卒寿を過ぎ、体力的にやや低下しておりますが認知度テストは無事通過！しばらくは皆様とお話をしながら外来診療を頑張りたいと思っています。

しかし電子カルテの進化、医療職への就職数の減少等により診療に対して今以上に心遣いが必要な世界が始まっています。このような状況下で今までの医療に対応するため、体力の現状維持はもちろん、可能な限り医療に対して最大限の努力をし、行動するつもりです。私たちが医療の中で求めることは、患者様の話を十分聞き取り、責任ある対応を必要と考えています。

2026年、今年も一年間どうぞ宜しくお願ひいたします。

■副院長 井藤 孝 (内科)

新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は、丙午（ひのえうま）もあたります。60年前の1966年の年間出生数は前後の年と比較して約50万人も少ない136万人でした。

2025年の年間出生数は約66万人であり、60年前に突出して少なかった1966年の半分以下になっています。

日本政府も少子化対策の政策を行っていますので、出生数が増加して日本の国力が増していくように願っています。
今年もよろしくお願ひいたします。



■診療統括部長 佐々木 智浩 (整形外科)



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、本年も健やかで実り多い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、街にも徐々に活気が戻ってきましたね。

少しずつ「普通の生活」を取り戻していると感じる方も多いのではないでしょうか。

しかしながら、この冬も、コロナはもちろん、インフルエンザやノロウイルスなど、様々な季節性感染症が流行しています。

当院におきましても、皆様に安心して医療を受けていただくため、引き続き感染対策を徹底し、緊張感を緩めることなく業務に励んでまいります。

本年も、整形外科にて関節リウマチを中心に、整形外科全般の治療を担当させていただきます。

地域の皆様の健康維持・増進を微力ながら全力でサポートさせていただきますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

■医長 渡邊 健太（整形外科）

新年あけましておめでとうございます。
昨年も地域の皆様に支えられ、日々の診療を無事に
重ねることができました。心より感謝申し上げます。

普段の診療では、患者さまの生活の様子や身体の声
に耳を傾ける中で、多くの学びをいただいております。

私自身、昨年から犬を迎えたことで、毎朝の散
歩が日課となりました。

地域の公園や道を歩きながら、自然と運動量が増え、体を動かす心地よさを改め
て感じております。また、健康維持にもつながればと歩いています。さらに、散歩
中に地域の皆様と交わす挨拶から、この町のあたたかさを感じる日々です。

こうした日々の気づきを大切に、患者さまにも無理なく続けられる運動や生活習
慣を提案できるよう、今年も一人ひとりの生活に寄り添った診療を心がけてまいり
ます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。



■大竹 かおり（内科）

あけましておめでとうございます。

当院で働いて2年目となりました。1年目に始
めたyoutube体操を細々とですが、続けています。
そのせいか、病院の階段を昇るのが楽になりました。
体操を継続して元気で働きたいと思います。

今年もよろしくお願ひします。

■佐々木 恵美子（皮膚科・メディカルス キンケア）

あけましておめでとうございます。
一つ一つ確実に邁進してまいります。
今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

